議事録

第３１回研修会

令和元年１２月１４日（土）　　於：近畿大学　東大阪キャンパス

配布書類

- 令和２年度 後期活動予定表
- 令和元年度 前期決算報告
- 関西学生弓道連盟 新規役員募集について
- 令和元年度 新人戦アンケート集計結果
- 令和元年度 新人戦特例選手
- リーグ編成の提案に関する資料
- 令和元年度 リーグ編成案①②　計２枚
- 第３１回研修会パンフレット　計１部
- 研修会パワーポイント資料

計９枚と１部

13:05 会議開始

連絡事項

- 連盟脱退校・新加盟校の承認
  - 畿央大学と大阪大学外国語学部の連盟脱退に関して、異議がなかったため承認されました。
  - 大谷大学様よりご挨拶をいただきました。拍手決済にて正式に加盟が承認されました。

・令和元年度新人戦について

- 11 名の新人戦特例選手の申請に関して、異議がなかったため承認されました。
- 新人戦アンケートの集計結果を資料に示しました。ご確認ください。なお、新加盟の大谷大学が新人戦への参加を決定された場合、参加校が 41 校から 42 校になります。
- 実施日程に関して、異議などが寄せられなかったため前回会議に提示した日程で決定させていただきます。資料に関して異議・間違いなどがありましたら副委員長 古川のメールアドレスまでお問い合わせください。
- 第１戦の組分けのくじ引きを２月の学連会議で行います。そのため２月の会議に参加していただく様、よろしくお願いいたします。

・　関西学生弓道連盟規約

- 規約中の幾つかの誤字・脱字の訂正を行いました。（規約の改定とは異なります。）

・　関西学生弓道連盟新規役員募集について

- 役員募集につきまして、関西学生弓道連盟の活動内容を記載しています。道場内に掲示するなどして現１回生に新規学連役員募集の周知を促してください。
- １回生の意向をご確認いただいた上でアンケートにご回答ください。期限は１月３１日（金）当日消印有効で総務 島津の住所まで郵送ねがいます。

・　前期決算報告

- 各収入・支出は概ね例年通りとなっております。何かご不明な点があれば総務長までご連絡ください。

・　令和２年度リーグ編成について

- 令和２年度リーグ編成の案として①②の２つを提案させていただきます。①は現行の規約通りに編成したもので、②は前回会議で提案されたリーグ再編成に伴う規約改定を想定したうえで編成したものとなります。研修会内での決議の結果、②案が採択されました。

・　リーグ再編成の提案について

- 前回会議にて提案させていただいた再編成案に対して、異論や代替案が研修会までに寄せられなかったので、本研修会で採決を取る流れとなりました。
- 学連の提案する再編成案の詳しい説明は前回会議の配布資料をご参考ください。
- 規約６７条②において、加盟校の参加、棄権により、ブロック間の不平等が生じた場合学連はリーグの再編成を行うとの規定がある。加えて現状では、ブロックのみならずリーグ間においても不平等が生じている。
- 上の部の枠に空きが生じた場合、入れ替え戦後に的中率の上位校をリーグ昇格とし、次年度のリーグ編成に空きが出ないように再編成する旨の記載を規約に加えることをご提案致します。（リーグ編成②案）

■　学連の②案を採用する。同時に、規約の改訂を行う。

賛成　47 校　　**反対**　2 校

→2/3 以上の賛成が得られたため、来年度のリーグ編成には②案が採用されます。また、規約 67 条②の改訂を行います。

研修会事前アンケートに関する回答(パンフレットp.4～)

※下記の内容以外の議題に関しましては、研修会パンフレットをご覧ください。

- リーグ戦において審判校の遅刻により試合が遅延した。遅刻の理由を伺いたい。また、試合の遅刻に関してその後の対応の明確な規定が欲しい。【大産大】

立命館　遅刻理由は審判の寝坊によるものでした。
学連　試合開始の 30 分後までに来なかった場合、試合を延期するという対応を取った。今後そのようなマニュアル改正を行いたい。

■　男子リーグ戦において 12:30 までに審判校が現れなかった場合、試合を延期する。
賛成 17 校　**反対** 32 校

〈反対意見〉
奈良女　延期による不利益が考えられる。（例：振替日に人数が揃わず、不戦敗となる可能性がある）審判校の遅延があっても試合は当日中に行うべきである。
大手前　選手の交通費など不利益が多くなるため、時間がおしても試合は当日に行うべき。

学連　当日対戦校両校から試合の延期を希望されたが、理由を伺いたい。
大産大　審判校の不在で選手の動揺があり、試合をできる雰囲気でなかったため、延期を希望した。
天理大　審判の不在で試合の続行が問われ、緊張感がなくなってしまった。大産大と相談した結果、別日に改めて行うことを希望した。

奈良女　規約には、「当該校の合意があれば延期を認める」と記載してはどうか。
学連　遅刻自体を認める形にはできないため、規約に遅刻について盛り込むつもりはく、リーグ戦マニュアルに記載することに留める。
京都大　学連 HP よりリーグ戦マニュアルには、交通機関の遅延で審判校不在の場合は各校から１名ずつ審判を出して到着を待つ旨が書いてある。遅刻に関しても同じ措置をとり、審判校には何らかのペナルティを課せば良いと思う。
奈良女　リーグ戦審判マニュアルには審判の在籍校に懲戒処分が明記されている。また、審判校不在の場合は各校から１名ずつ審判を出して試合を行えば良いと思う。
神外大　人数不足で１名の審判を出せない可能性があるため、反対。
学連　両校から審判を出せる場合は、当日に両校から審判を出して試合を継続し、人数不足で審判を出せない場合は３校で協議するのはどうか。なお、審判校には処分を下すことをマニュアルに記載する。

〈学連の見解〉審判校ではなく、対戦校両校とリーグ本部の三者での相談を行い、学連から延期、対戦校から審判派遣などをその場で決めてはどうか。審判は遅刻するときは先に対戦校に連絡し、対戦校から学連本部に連絡していただき協議する。また、交通機関の遅延の際は遅延証明を取得する。以上のように審判マニュアル・リーグ戦マニュアル改正したい。

■　学連と両校の相談で試合の存続を決定する。

賛成　47 校　　**反対**　2 校

→過半数の賛成をいただきましたので、上記のようにマニュアルの改訂を行います。

学連　なお当日には遅刻理由を電車の遅延によるものと聞いていたため、事実関係を確認したい。
立命館　主審が本日出席しているが、電車の遅延と言った覚えはない。
学連　当日は副審の方からの電話対応をしたが、電車の遅延と伺った。

■　今回の件で立命館大学に対し、審判マニュアルに基づき懲戒処分を下す。

賛成 28 校　　**反対** 20 校　（立命館大を除く）

→賛成が２/３を満たしておらず、懲戒処分は行いません。厳重注意とさせていただきます。全加盟校の皆さま、試合の遅延はなさらないよう今一度ご注意ください。

- 今年度のリーグ戦第１戦道場提供校の変更が複数あり、さらに変更連絡が２日前に来ていた。【奈良女】

奈良女　9/6 までは大産大で試合予定だったが、大産大の道場不備により、9/8 に大阪大から会場校として連絡を受けた。大産大からは謝罪を受けたが、他リーグに所属する大学で実施されることが今後もあるのかどうか知りたい。
学連　大産大様より急な道場使用不可のご連絡があったため、同リーグに道場を提供できる大学に限りがあり、リーグ戦アンケートに基づいて他リーグの大阪大の道場をお借りすることとなった。今後とも迅速な情報提供に努めます。また、リーグ内で会場校を賄うことができない場合、他リーグの大学様に依頼することは今後も考えられます。ご了承ください。

- 今年度のリーグ戦が間延びしていたように思う。女子ならば午前試合は行われず、午後のみに試合が入っているなどが見受けられたがなぜか。また、試合会場のホームとアウェイのバランスを均等にしてほしい。【神戸大】

学連　他大学との道場使用状況の都合上、今年度はこのような組み方となった。改善の余地もあったと思われるので次年度からは善処いたします。

- リーグ戦への参加・棄権に関する規約改訂案　【近畿大】　　＊資料参照（第 67 条）

近畿大　現行の規約では、部員不足の際に棄権をすれば１年はリーグ残留ができる。しかし、人数不足でも出場している大学があるのでこれは平等ではない。棄権する大学はリーグ最下位処置でいいのではないか。

■　規約 67 条①の改訂を認める。
（投票）**賛成**　59.6%　　**反対**　40.4%
→2/3 以上の賛成が得られず、改訂は行いません。

〈反対意見〉
神外大　外国語学部なので留学の検討など将来における重要な決定がリーグ戦によって制限されてしまう可能性がある。

15:15 まで休憩

学連　　現行のままでもし今後、加盟校の大学様が徒らに棄権されてしまうと、準加盟への降格といった処置をとらせていただく可能性も出てくるが、他の反対意見を伺いたい。

京文教　大学の規模が違うので、人数を集めるのが難しい。現在当部の男子は３人で活動している。
大産大　人数の規定を設けて、何人以下であれば自動的に棄権とすれば良いと思う。
兵教大　スライドの①と③に矛盾があるが、（棄権は認めないと記載している一方で棄権による降格の記載がある）学連の案の上では人数不足では自動的に棄権で降格となるのか。あるいは人数不足でも出場はできるが、棄権を選択した場合リーグ降格になるのか。
学連　　原則として棄権を認めないという意味合いの内容を規約に盛り込むつもりである。最下部のリーグでは降格自体も起こらないため、棄権をされる大学が多い。学連に加盟している以上はリーグ戦には参加するべきで、新入生勧誘などの部員確保も積極的に行っていただきたい。また、人数不足でも試合をしていただくことは可能。
学連（全日）　全日側としては、多くの試合において棄権をされると準加盟への降格や脱退の勧告の対象となってしまうことは認識しておいていただきたい。棄権を認めないという方針にしていきたい。
大府大　リーグ降格となる場合、下部リーグでは的中率１位の大学が入れ替え戦を行わずに自動的に昇格となるのか。入れ替え戦を行わずに昇格となるのは不平等となりうる。
学連　　先ほどのリーグ再編成案により、棄権があった場合も下部リーグで的中率１位の大学が昇格となる。改めて、関西リーグに所属する上で、棄権自体が望ましくなく、人数不足であってもできる限りの参加を願います。

- 東西対抗試合出場資格についての規約改定案【学連】　＊資料参照（［補則］第４条）

学連　現行ではリーグ戦において総射数の６割以上を出場資格としているが、ブロック内の加盟校数が極端に少ない場合でも出場資格を得ることとなり、不平等が生じてしまう。出場資格を総射数の６割ではなく、規定射数を設定したい。（具体例としては 60 射など）

〈ご質問〉

関学大　女子６部だと３校しかおらず総射数 60 射を引けないため、出場できないのか。

学連　６部に関しては試合数が少ないため、６校全体で試合を行うことも検討中である。

学連　あくまで総射数 80 射というのは 80 射引かなくてはいけないわけではなく、リーグ戦において 60 射引かれた選手が対象になるということです。

大府大　総射数は関係なくなるのではないか。

学連　関西代表として背中を押せるような選手であると認定するために、ある程度の基準となる射数を定めたいと考えている。

■　東西対抗試合出場資格について規約の改訂を行う。

（なお、基準となる射数は後日考案し、改めて決を採ります）

賛成 47 校　**反対** ２校

→2/3 の賛成が得られましたので、規約［補則］第４条の改訂を行い方向で進めます。

- リーグ編成変更案１【近畿大】　＊資料参照

学連　メリットはブロック内の入れ替わりが激化し、活性化に繋がる。また、どの大学でも王座を狙いやすい。しかし、現実的には４部制にする上で明確な基準がないので変更は困難である。

- リーグ編成変更案２【大経大】　＊資料参照

学連　下部リーグの加盟校様が勝ち上がることができ、活性化につながる。再編成は上記と同様困難と思われる。

- 新人戦の出場資格の変更案【関西大・近畿大】　＊資料参照（新人戦について）

京府大　人数が少ない大学は特例選手がいないと成り立たなくなるのではないか。

学連　現在の論点は、新人を優先した上で、新４回生のリーグ戦６割に満たない選手を優先的に出場させるというもので、特例選手の制度を廃止するものではありません。なお、この適用は令和３年の３、４月に行われる新人戦からとなります。

■　新人戦の旧人に新４回生の６割以上引いていない選手の出場を優先させる。

賛成 46 校　　**反対** 3 校

→2/3 以上の賛成が得られたので、規約第 114 条の改訂を行います。

●　新人戦の競技方式変更案【滋賀大・和歌山】　　＊資料参照（新人戦について）

学連　変更案では各ブロック内の試合は実力差がなく良質なものが期待されるが、優勝決定戦はリーグの上下差が大きい中での試合となってしまう恐れがある。

和歌山　あくまでも１・２回戦においてブロック内で実力差を揃えるもので、それ以降は変わらず抽選によるトーナメント形式で良い。

奈良女　新人戦をトーナメント形式で行う意義がなくなるのでは。もし、同じリーグ内で試合を行うのであれば秋のリーグ戦に出ていない選手に限定してリーグ戦を再度行う形にする方が良いと思う。

京都大　ブロックごとに分けて、その中の初戦はより実力差のない大学同士で試合を行う。それ以後はトーナメント形式の試合を行う。

学連　男女でリーグが大きく異なる大学は実力のレベルをどう判断すれば良いのか。また、各大学の実力を学連の裁量で決めてしまっても良いものか。

関学大　昨年度のリーグ戦の的中率で決めるのはどうか。

学連　リーグ戦に出ていない新人が行う試合を昨年度のリーグの的中率によって決めてしまうことはできない。

■　新人戦に関する規約を変更する。

賛成 2 校　　**反対** 47 校

→反対多数のため、規約の改訂は行いません。

●　記録会の出場人数制限について【学連】　　＊資料参照（記録会）

学連　全国選抜大会に出場できる上位９校のみ２名の参加が可能としたい。

（資料の訂正）改訂前後ともに　「その他の加盟校は各校二名」→「その他の加盟校は各校一名」

■　記録会の出場人数制限に関する規約の改訂を行う。

賛成 37 校　　**反対** 12 校

→2/3 以上の賛成が得られたので、規約第１２３条の改訂を行います。

● 記録会(男子)における通過基準の制定【学連】　＊資料参照（学連側からの提案）

学連　複数の加盟校様より、男子記録会の手伝い役員の負担が大きいとのご指摘をいただきましたため、このような通過基準(40/60 中で通過)を設けることをご提案致します。

■ 通過基準を設ける。

賛成 31 校　**反対** 18 校

→2/3 以上の賛成が得られなかったため、来年度以降も通過基準は設けません。

● 危険行為に対する罰則の制定【学連】　＊資料参照（危険行為について）

学連　リーグ戦開始前に、危険行為(行射中に看的の合図を出してしまうといった、人命に関わり得る行為)に関して、罰則を設けるとの旨をお伝えしておりました。今年度のリーグにおいてもこのような危険行為が見られたため、再発防止のために危険行為に対する罰則の制定を決定致しました。よってその罰則内容を投票にて決定致します。

関西大　危険行為というだけでは明確ではないと思われるが、具体的にはどのような行為のことを指すか決定しているか。

学連　人命に関わる重大事項、つまり、主に行射中に的前に人がいるという状況を作ってしまう行為のことを指します。

■ ① or ② or ①・②　（紙面での投票による）

① 21 校　**②** 14 校　**①・②** 4 校　**白紙** 10 校（計 49 校）

→最多数の①：次年度の全日・関西学連主催の大会の出場を 1 年間停止する に決定致します。

● コーチ・監督などの試合介入について【学連】

学連　今年度のリーグ戦において、コーチが審判に的中についての意見を行ったという事態が発生したことにより、今後の再発防止のために明確にコーチ・監督の意義や権限に関する規定を設けたい。

■ コーチ・監督の権限等について規約に明文化する。

賛成 47 校　**反対** 2 校

→2/3 以上の賛成が得られたので、規約に明文化致します。文面に関しましては、Google グループにて流しますので訂正・再検討の希望があればお申し付け下さい。

17:20 会議終了

以上